



**令和4年度オープンホスピタル  
北2階病棟(精神科神経科)**

# 北2階病棟 精神科神経科 (急性期治療病棟)

- 精神的なトラブルは、多くの人  
が抱える身近な問題です。
- 統合失調症、躁うつ病、パニッ  
ク障害、強迫性障害、摂食障害  
など多様な疾患に対して様々な  
職種が連携しながら専門的な治  
療を行っています。



右と左 どこが違うか分かりますか？



右と左 どこが違うか分かりますか？



**ナースコールが短い！**  
コードを用いた自傷行為を防ぐ目的です

# 精神科の特徴

## その1. カンファレンスが多い！

入院時  
カンファレンス

隔離・身体拘束  
カンファレンス

内服自己管理  
カンファレンス

看護計画  
カンファレンス

チーム  
カンファレンス

退院支援  
カンファレンス

退院前  
カンファレンス

転倒転落  
カンファレンス

摂食障害  
カンファレンス

合同  
カンファレンス

対応が困難な事例も多くとにかく色々な職種を集め、  
積極的に話し合いの場を持ちます。  
新人でも発言しやすい雰囲気、そこで多くの事を学  
ぶこともできます。

# 精神科の特徴

## その2. 身の回りの管理・整備を行う

### 【金銭管理】 ※必ず患者さんの同意を取っています

- 病状により、金銭の自己管理が困難な患者さんは、看護師が代わりに管理を行います。
- 退院後最終的に自分で管理が出来るよう指導も行います。



### 【日常生活介助】

- 清潔への意識が低下するのも精神疾患の一つの特徴です。整理整頓が出来ているか、入浴や歯磨き、洗顔など日常的な清潔が保てるようにするため、適宜、看護師と患者さんとで実施しています。

# 精神科の特徴

## その3. お薬の管理について



- 一般の病棟とは異なり、患者さんにスタッフステーションまで来てもらい、ひとりひとりの名前を確認しながら配薬します。

- 退院後、お薬を自分で管理しなければならない患者さんのために、「内服自己管理」を行っています。
- 「1日ごと」「一週間」といったように、自分でお薬を管理する期間を段階的に長くして、最終的には自分で管理できるよう調整しています。



お薬カレンダー

# 患者さんの安全を守るために… 危険物の管理

ベッドサイドには、出来るだけものを持っていかないようにしています。

はさみは、病棟で限られた本数を管理し、**スタッフが個別にハサミを持つことはありません。**

スタッフの  
危険物管理

危険物の  
持ち込み

離院防止

ライターなどの火器類はもちろん、ベルト・タイツなど長さのあるものや、鏡・ビンなどのガラス製品の持ち込みも制限しています。

安全

院内で過ごす必要のある患者さんが誤って外へ出ないように玄関前はスタッフが常時気を付けています。



# できるだけ患者さんの行動を制限しない ようにするために…

精神保健指定医による診察  
(12時間以上の場合)

行動制限最小化委員会での  
活動

精神看護では、患者さんが身体的にも精神的にも**安全で安楽な**環境の整備が第一！

しかし、**人権**への配慮も必要！

これらを同時に満たすことはなかなか  
難しく、スタッフのジレンマにも  
なっていますが・・・

今の患者さんに必要か？など、  
チームで話し合い、共有しながら、  
日々関わっています。

観察の頻度を増やす  
(隔離：30分ごと  
身体拘束：15分ごと)

カンファレンスの励行  
(本当に必要なのか、  
毎日評価)

隔離：1日1回以上の  
医師による診察  
拘束：1日2回以上の診察

専用のケアプランをたてて  
よりきめ細やかなケアを行  
う

# —退院に向けて— 地域で暮らしていく為に

精神疾患は、  
誰でもかかる可能性のある病気です。

適切な治療の継続により  
その症状を相当程度安定化させ、寛解、  
治癒することも可能な病気です。

- 有病率2～3%
- →約50人に1人

強迫性障害

- 120人に1人

統合失調症

- 有病率2～3%
- →約50人に1人

摂食障害  
(拒食症・  
過食症)

躁うつ病

- うつ病：
- →8人に1人

• うつ病は全ての  
の病気の中で  
4番目になりや  
すい病気

# 若手職員紹介

●東大路 花子さん

●入職2年目、北2階病棟所属

●主な仕事内容

検温や保清などの日常生活援助業務に加え、精神科病棟として独自の業務も行っています。患者さんの話を丁寧に聞くことはもちろん、内服で治療を進めることがメインになるため内服確認を徹底しています。また、退院支援が必要な患者さんが多いので、医師・薬剤師・PSW・OT・心理士…など多職種でのカンファレンスを重要視しています。



## 西花子さんのある1日

- 08:30 ● 情報収集
- 08:45 ● 申し送り
- 09:00 ● 病棟業務（検温、保清、食事介助など）
- 14:00 ● 看護師間カンファレンス、発達障害勉強会
- 15:00 ● 定期・内服・隔離・摂食カンファレンス
- 17:15 ● 退勤
- 18:00 ● スーパーに寄って帰宅、家族と夕食
- 20:00 ● 家事、読書、明日の仕事の準備
- 22:00 ● 休憩、就寝

## 仕事をする上で大切にしていること

北2階病棟では、精神保健福祉法に基づいて身体拘束や隔離を行うこともあります。そのため患者さんの人権を第一に、倫理的な配慮を大切にしています。安全との兼ね合いで悩むこともありますが、そんな時は看護師間でのカンファレンスのほかに、多職種でのカンファレンスを重ねます。また、患者さん自身の意見を大切にすること、疾患の影響などでうまく自分の意志を伝えることが難しい患者さんと関わる際には、日々の生活を観察し、良き代弁者となれるよう心がけています。

## 北2階病棟に興味を持ってくださった方へ

北2階病棟はスタッフ同士の仲がよく、人間性豊かなスタッフ間で助け合って仕事をしています。スタッフは新人からベテランまで幅広いですが、意見交換を行いながらケアの向上に努めています。そんな中で醸成されたアットホームな雰囲気が働きやすさにも繋がっています。精神疾患に対する社会の注目度も上がっている近年、自分自身にも役立つ学びが得られると思います。